



2024年8月14日

各 位

会 社 名 BRUNO株式会社
代 表 者 代表取締役社長 森 正人
(コード番号 3140 グロース)
問 合 せ 先 常務執行役員経営情報部長 松原 元成
(電話番号 03-6631-0000)

通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月15日に公表いたしました2024年6月期業績予想と実績値について、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年6月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2023年7月1日～2024年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,600	百万円 270	百万円 120	百万円 △185	円銭 △12.90
実績値 (B)	12,940	146	11	△334	△23.35
増減額 (B-A)	△659	△123	△108	△149	
増減率 (%)	△4.8	△45.6	△90.4	-	

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
(参考) 前期実績 (2023年6月期)	百万円 11,298	百万円 358	百万円 215	百万円 632	百万円 44.08

※ 前回発表予想は2024年5月15日「繰延税金資産の一部取り崩しおよび業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した2024年6月期連結業績予想数値です。

※ 2023年6月期は非連結決算です。

2. 差異が生じた理由

2024年6月期通期連結業績予想値と実績値との差異が生じた理由は、主として以下の(1)～(3)の影響になります。

(1) 海外販売について

海外販売において、これまでは海外代理店に販売を任せておりましたが、2024年6月期より海外市場におけるブランド力強化、模倣品対策等の管理面の強化によるさらなる売上拡大を目指し、海外事業部を設置、

海外子会社設立、直接販売体制にシフトし、売上を伸ばしております。しかしながら、中国におけるマーケティング調査分析等に時間を要し十分な広告宣伝が実施できなかった等の要因により、2024年6月期第4四半期の計画に対して売上が138百万円減少いたしました。

(2) 卸販売について

卸販売につきまして、コロナ特需の反動からキッチン家電の販売が振るわなかったこと、およびEC販売を主とする得意先への売上が減少、また子会社の株式会社ジャパンギャルズにおける美容機器のOEM販売の減少等の要因により、2024年6月期第4四半期の計画に対して売上が613百万円減少いたしました。

(3) 繰延税金資産について

今後の業績を保守的に勘案した結果、2024年6月期第4四半期（2024年4月～6月）においては繰延税金資産を35百万円取り崩しました。

注) 繰延税金資産を取り崩すにあたり使用している課税所得見通しについては、直近の実績を踏まえて保守的に見積もったものであり、当社が計画している中期経営計画の数値とは異なっております。

以 上